



WebClassの活用法

～教育の質保証に向けて～

基盤教育研究センター

天野憲樹

amnrk@mail.saitama-u.ac.jp

内容

- WebClassとは?
 - 概要, できること, 必要性
- WebClassの活用法
 - 基本的な利用方法
- 注意すべきポイント
- 情報 & サポート





WebClassとは？

WebClassの概要

Learning Management System

- 学習管理システム(LMS)
 - 学習者と教材, 学習状況(進捗)などの管理
- Web上のシステム
 - Webブラウザさえあれば利用できる
 - 特定のハードウェアに依存しない
- シンプルで使いやすい
 - 多機能過ぎず, 操作もシンプル

WebClassでできること(例)

- 講義の資料をネットで配布できる
 - 学生のレポートをネットで受け取れる
 - 講義専用のネット掲示板が開設できる
 - ネットで小テストを実施できる
 - 学生の学習状況を把握できる
- ◆ 上記のことが「いつでも、どこでも」できる

必要性:なぜWebClassなのか？

■ 教育の質保証

□ 単位の実質化→授業時間外学修の支援

■ 大学設置基準による「1単位」の定義

□ 45時間の学修が必要

□ 講義:15時間の授業+30時間の授業時間外学修

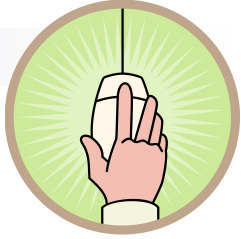
□ 教員の負荷が増大→ITによる負荷の軽減

■ レポートの回収等も受講者数によっては大きな負担

■ TAを使いたくても予算がない

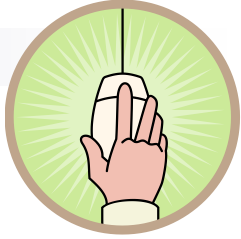


WebClassの活用法



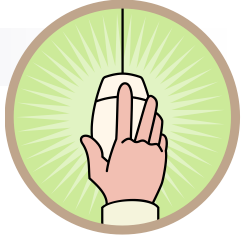
基本的な利用方法

- 学生への連絡
- 講義資料のネット配布
- レポートの受け取り
- ネット掲示板の開設
- 小テストの作成
- 学生の学習状況(進捗)の把握



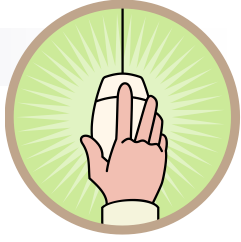
WebClassのログイン

- <https://webclass.gks.saitama-u.ac.jp/>
本学のWebサイト(トップ)→
「在学生のみなさん」→
「WebClass授業支援システム」(メニュー)
 - 「ログイン画面を表示」→
「教員のログインは別画面です. ここをクリック」
 - https://webclass.gks.saitama-u.ac.jp/webclass/tool/saitama/teacher_login.php



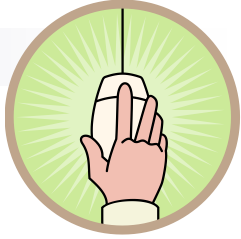
注意すべき基本操作

- **WebClassのメニューを使って操作する**
 - ブラウザの「進む」「戻る」などの操作をしない
 - [BackSpace]や[Alt]+[→]など
- **最後は必ず「ログアウト」で終了する**
 - ブラウザの「閉じる」ボタンなどで終了しない
 - [×]や[Alt]+[F4]など



学生への連絡

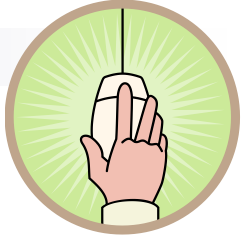
- [管理画面]→新規投稿
 - ※別ウインドウが開かれる
 - タイトル
 - 内容
 - [公開]ボタン ※[管理者からのお知らせ]に表示



講義資料のネット配布

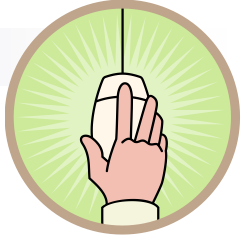
■ [資料]→新規作成

- 基本設定: タイトル, 説明など
- 資料作成: ページ編集
- オプション設定
 - 教材実行時の制限: 時刻, 回数, 場所など
 - ページ表示の設定: 目次の表示など
 - コース管理者に対する教材編集・成績閲覧制限



レポートの受け取り

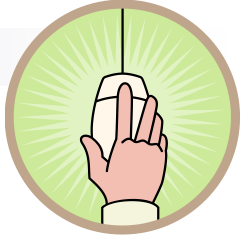
- [テスト/アンケート]→新規作成
 - 基本設定: タイトル, 種別: レポート
 - テスト作成: 問題編集
 - オプション設定
 - 教材実行時の制限: ×切などを設定
 - 問題表示
 - 採点・結果表示
 - その他



ネット掲示板の開設

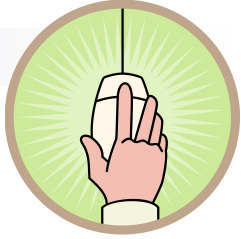
■ [会議室]→新規作成

- 基本設定: タイトル, スタイル: 掲示板
- 掲示板作成
- オプション設定
 - 教材実行時の制限:
 - 掲示板設定:



小テストの作成

- [テスト/アンケート]→新規作成
 - 基本設定: タイトル, 種別: 自習用・試験
 - テスト作成: 問題編集
 - 選択問題, 穴埋め問題, 記述式問題など
 - オプション設定
 - 教材実行時の制限: ✕切や実行回数などを設定
 - 問題表示
 - 採点・結果表示ほか



学生の学習状況(進捗)の把握

■ [成績管理]

□ 進捗状況一覧:

- テストだけでなく、講義資料の閲覧時間・回数などが表示される ※全学生が表示

□ 成績一覧:

- 小テストの成績結果が表示される ※全学生が表示



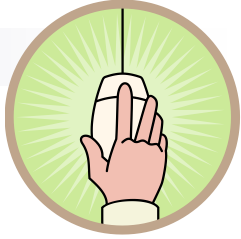
注意すべきポイント

「WebClass＝質保証」ではない

- WebClassにコンテンツをアップしただけでは学生は学習しない！
 - 結局、試験1週間前に学習するスタイルから脱却できない学生がほとんど
 - 「いつでも、どこでも、誰でも」という「ユビキタス」な学習は機能しない！
 - 「いつか、どこかで、誰かが」学習するかも...

WebClassを機能させる工夫

- 魅力的な講義資料を作成する
 - 言うは易く行うは難し
- WebClassでの学習を成績評価に取り入れる
 - 小テストの点数や学習時間を加点対象にする
- WebClassの利用に「制約」を設ける
 - 「いつでも、どこでも」という状況を回避する



WebClassの利用に制約を設定

- WebClass上のコンテンツに対するアクセスには、2つの制約を設定することができる
 - 時間的な制約：利用できる時刻
 - 場所的な制約：利用できる場所（IPアドレス）
- 「決められた時間に、決められた場所で」しか学習できない→適度な緊張感を与える



情報 & サポート

困ったことがあったら

- WebClassの利用者マニュアル
 - 教員用: [コース管理者マニュアル](#)
 - 学生用: [ユーザマニュアル](#)
- WebClassのホームページ(開発元)
 - <http://www.webclass.jp/>
- システムトラブルなどの連絡先
 - 学務部教育企画課教務電算担当: [三浦厚](#)
 - miura@mail.saitama-u.ac.jp, 048-858-9150